



学校自己評価の結果について

学校では「保護者アンケート（保護者によるもの）」「学校自己評価（職員によるもの）」「学校関係者評価（学校運営協議会によるもの）」という3つの視点から、学校経営を多くの人の目で見てもらって幅広くご意見をいただき、次年度の学校経営に生かしています。保護者アンケートの結果は先日配布させていただきました。今回は学校自己評価（職員によるもの）の結果について報告させていただきます。

学校自己評価は、学校の全ての教育活動について職員が学校全体としてしっかりと行えているか改善した方がよいかを評価するものです。来年度に向けて改善するところを見つけ、軌道修正する機会としています。全体では33項目の平均が4段階評価で3.4という結果でした。

【自己評価のポイントが高かった項目】

- ・＜教育相談＞子どもとのふれあいを大切にし、教育相談等で児童生徒理解に努めているか。(3.6)
- ・＜教育目標＞学校の教育目標や教育方針についてわかりやすく伝えているか。(3.5)
- ・＜施設管理＞校舎内外の施設・設備の管理をしっかりと行っているか。(3.5)
- ・＜家庭連携＞保護者との連携を図り、開かれた学校づくりを進めているか。(3.5)
- ・＜学習指導＞学年の学習目標や学習内容を知らせているか。(3.5)
- ・＜生徒指導＞問題行動の予防と早期発見、早期対応に努めているか。(3.5)
- ・＜健康指導＞子どもが心身ともに健康な生活が送れるように指導しているか。(3.5)

【自己評価のポイントが低かった項目】

- ・＜情報指導＞コンピュータの活用能力を高め、情報モラルの指導に取り組んでいるか。(3.0)
- ・＜学校特色＞特色ある推進事業を活用し、特色のある教育活動をおこなっているか。(3.1)
- ・＜学習指導＞一人一人に応じたわかりやすい授業をしているか。(3.1)
- ・＜学習指導＞基礎学力を身につける工夫をしているか。(3.2)

自己評価のポイントの最も高かった＜教育相談＞では、年に3回の教育相談で全児童にアンケート調査をした後、担任と1対1で相談活動を進めています。その時に話された内容について、関係職員と情報共有を図り、問題の解決、経過観察を行っています。また＜生徒指導＞の内容と関連していることもあり、日頃から子どもたちへの声かけやコミュニケーションによって、問題行動の予防と早期発見につなげよう意識している職員が多く、高数値となりました。ただ、保護者アンケートでは＜生徒指導＞の項目は最も低い結果となりました。学校での＜教育相談・生徒指導＞に関わる情報を、保護者の皆様にも素早くお伝えし、学校の対応を説明したり保護者の皆様の思いを汲み取ったりした上で対応するなど、さらに連携を進めていきたいと考えています。

自己評価のポイントが最も低かった項目は＜情報指導＞でした。学習用タブレットの積極的な活用は進んでいますが、さらに授業で効果的に活用できるような教員研修を来年度実施します。また、情報モラルの指導は十分だったとはいえません。デジタル・シティズンシップ教育の年間計画が確実に実践できていないことが、職員より反省点として挙がりました。子どもたちが効果的に、かつ安全に正しくデジタル機器を活用する能力を身に付けられるように、デジタル・シティズンシップ教育を系統的・継続的に指導していきたいと思えます。＜学習指導＞における職員の力量向上も必要です。互いの授業を見合い、良さを学んだり改善点を話し合ったりする職員研修にも力を入れていきます。

来年度も全教職員で子どもたちの笑顔のために教育活動を進めてまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。